

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年4月の国内電気銅建値は下記の通りです。

4月	1日	～	1020 円/Kg
4月	7日	～	1040 円/Kg
4月	12日	～	1030 円/Kg
4月	16日	～	1060 円/kg
4月	21日	～	1050 円/kg
4月	26日	～	1080 円/kg

2021年4月度は平均で1044.50円/kgとなり、前月比22.40円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

4月のLME銅相場	4/1～4/27	(安値ドル8,768.00～9,898.50 高値ドル)
4月のNYC銅相場	4/1～4/26	(安値セント400.35～474.30 高値セント)

4月度のLME現物は、1日\$8,768.00でスタート。LME在庫は143,775tでの発表で、昨年12月以来の水準に戻った形となった。留まるところが見つからない、これだけの銅価格の高騰については、各報道その他によると、スケールの小さい金属相場への投資資金の流入により相場の押し上げがある状況下で、コロナ拡大を収めた形の中国の需要が堅調なことや、米国経済の回復の期待感などを背景に再生エネルギーや電気自動車の普及による銅需要の増加、更にワクチン接種の拡大による希望的な動きも加え、相場を近年にはない長期的な上昇サイクルに持ち上げていると言われている。今月はそれを裏付けるように国内銅建値は4/16 1060円/kgと過去最高値を記録し、更に月末26日にはこれを更新する1080円/kgと再更新した。また、LMEの銅相場においても約10年ぶりの高値へ高騰する状況で、1万ドル/t超えも目前となった。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

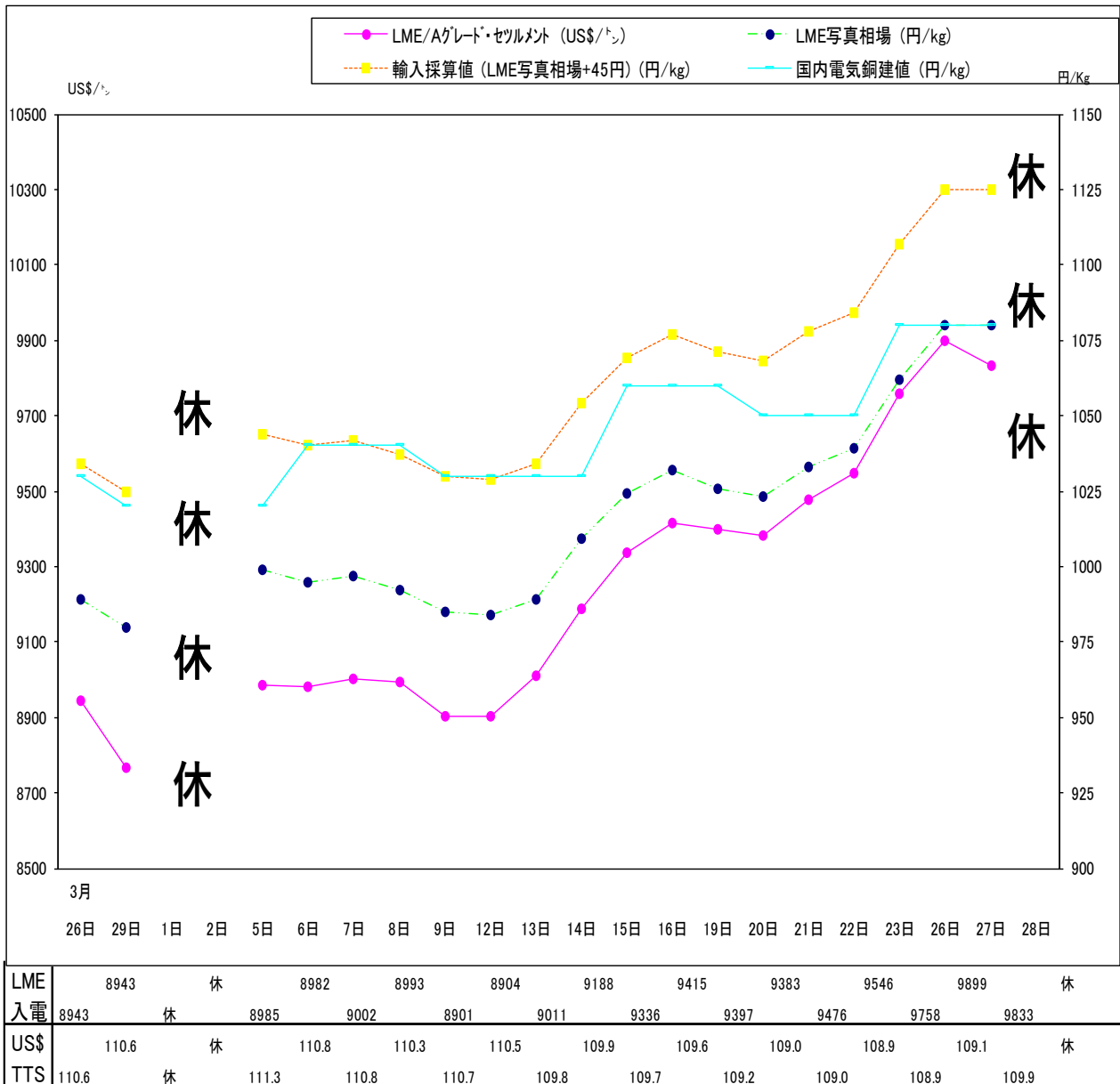
	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

先行き短期見通

国内銅価

4月の国内建値は1日1020円でスタート。7日1040円、12日1030円、そして16日には過去最高の1060円を記録。更に21日1050円とした後、4月26日1080円に改定され最高値を再更新した。4/27付LME\$9,898.50、同為替(TTS)1USD=109.16円で日本円換算計算値1080円/kgに。2021年5月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り1120円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年4月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 4月 1日 ~ 364 円/kg
- 4月 13日 ~ 349 円/kg
- 4月 16日 ~ 364 円/kg
- 4月 23日 ~ 346 円/kg

平均358.20円/kg

2021年4月は上記の通りで前月比 4.00 円 / kg の 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	4月	277.40 円/kg	(前月比+ 1.00 円/kg)
電気錫 (相対)	4月	4,500.00 円/kg	(前月比+ 120.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	4月市中価格	1,950.00 円/kg ~ 2,000.00 円/kg	
銀	3月平均	91,180.00 円/kg	(前月比- 2,950.00 円/kg)
	4月28日	93,010.00 円/kg	
金	3月平均	6,043.43 円/g	(前月比- 126.51 円/g)
	4月30日	6,216.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2021年3月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		2月度実績	3月度速報	前月比	前年3月度実績	前年同月比
銅	板	1,177	974	-17.2%	1,176	-17.2%
	条	22,799	25,069	10.0%	20,489	22.4%
	管	8,140	8,674	6.6%	9,236	-6.1%
	棒	1,714	1,849	7.9%	1,958	-5.6%
	線	313	324	3.5%	262	23.7%
黄銅	板	553	524	-5.2%	559	-6.3%
	条	8,237	9,477	15.1%	7,903	19.9%
	管	404	454	12.4%	459	-1.1%
	棒	14,912	16,010	7.4%	13,901	15.2%
	線	2,203	2,331	5.8%	2,004	16.3%
青銅	板	2,114	2,751	30.1%	2,301	19.6%
	条					
	棒	322	302	-6.2%	282	7.1%
	線					
洋白・その他	板	426	478	12.2%	436	9.6%
	条					
	棒	417	393	-5.8%	378	4.0%
	線					
合計	63,731	69,610	9.2%	61,344	13.5%	

3月の伸銅品生産速報は、69,610トンで前月比プラス5,879トン、前年同月比プラス13.5%となり、前年同月比が3ヶ月連続でプラスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の21年1月分実績及び2月分推定によれば、1月分実績はコロナ禍が影を落とし主力の建販部門が振るわず、2桁減になるなど7部門中5部門が前年同月を割り込み、総計は5万541tで前年同月比6.8%減と、19年10月以来16ヶ月連続で減少した。20年4月以降2桁減が9月まで続いたが、10月から1月まで連続で減少幅が1桁台に圧縮した。2月推定を含めると、これが5ヶ月続く見通し。12月と同様に電気機械、自動車ともクルマの生産台数上昇が寄与した。

銅電線の2月分推定は電気機械、自動車の2部門がプラスだが、主力の建販が7.7%減となったほか、他4部門もマイナスで、総計は5万2千tで同5.5%減少し、1月と同傾向を示した。

1月分実績を部門別にみると、プラスグループは3部門となる。電力は洋上風力発電、CVケーブル、保守メンテなどが伸び同1.3%増加し3ヶ月連続。電気機械は、自動車の電装用途と半導体、工作機械が動き、医療関係も下支えし、同3.7%増で5ヶ月連続。自動車は一部日系顧客が好調で同2.0%増え、4ヶ月連続の増加。ただ、ルネサスの火災による影響が懸念されている。

一方マイナスグループは4部門。通信はGIGAスクール用LANケーブルのピークアウトで同3.0%減は4ヶ月連続。建設電販は苦戦が続き、同12.6%減で12ヶ月連続前年同月を割込んだ。その他内需は、同21.1%減で10ヶ月連続前年割れ。輸出も同6.6%下降した。

2021年1月分(実績)・2021年2月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	1月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	2月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	1月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	880	15.7	▼ 3.0	700	(▼18.6)	▼ 13.2	1,497	17.0	2.6
電力	(1,206)	(7.3)	(▼9.9)	(1,300)	(7.8)	(7.3)	(905)	(18.9)	(▼10.1)
	4,036	18.8	1.3	3,800	▼ 5.8	▼ 7.8	5,277	26.8	9.8
電気機械	(213)	(▼14.5)	(▼18.4)				(207)	(▼16.5)	(▼18.2)
	11,075	▼ 5.5	3.7	11,600	4.7	4.4	13,524	▼ 2.6	▼ 7.3
自動車	(155)	(▼ 13.9)	(6.2)				(585)	(▼ 12.7)	(6.0)
	7,273	▼ 6.9	2.0	7,700	5.9	0.6	33,036	▼ 8.3	▼ 9.1
建設・電販	(34)	(466.7)	(112.5)				(32)	(357.1)	(100.0)
	23,185	▼ 11.6	▼ 12.6	24,000	3.5	▼ 7.7	28,514	▼ 8.3	▼ 6.6
その他内需	(56)	(69.7)	(▼31.7)	(500)	(9.2)	(▼1.4)	(61)	(56.4)	(▼27.4)
	3,080	▼ 6.3	▼ 21.1	3,000	▼ 2.6	▼ 22.5	5,606	▼ 4.7	▼ 17.6
内需計	(1,664)	(4.5)	(▼9.8)	(1,800)	(8.2)	(4.7)	(1,789)	(3.7)	(▼6.5)
	49,509	▼ 6.9	▼ 6.8	50,800	2.6	▼ 5.2	87,454	▼ 5.3	▼ 7.5
輸出	(162)	(▼79.0)	(▼86.6)	(1,200)	(640.7)	(531.6)	(99)	(▼75.9)	(▼84.4)
	1,032	0.6	▼ 6.6	1,200	16.3	▼ 17.2	4,536	▼ 9.2	6.0
合計	(1,826)	(▼22.7)	(▼40.1)	(3,000)	(64.3)	(57.2)	(1,889)	(▼11.6)	(▼25.9)
	50,541	▼ 6.8	▼ 6.8	52,000	2.9	▼ 5.5	91,989	▼ 5.5	▼ 6.9
心線販売	(446)	(26.7)	(▼20.8)	(500)	(12.1)	(▼0.2)	(112)	(30.2)	(▼21.1)
	23,220	1.3	▼ 9.8	23,700	2.1	▼ 6.8	18,253	6.3	2.7

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2021年1月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,071	0.0	24.3	3,075	5.8	14.1	
巻線	10,139	▼ 7.0	▼ 0.6	9,660	▼ 4.9	▼ 10.5	
機器用電線	3,080	▼ 3.6	▼ 3.5	9,373	▼ 2.3	2.0	
通信用電線・ケーブル	1,238	5.8	▼ 6.5	2,883	4.6	▼ 4.8	
電力用電線・ケーブル	17,991	▼ 0.6	▼ 13.4	19,793	2.9	▼ 8.8	
被覆線	8,599	▼ 20.3	▼ 11.5	13,210	▼ 13.7	▼ 7.0	
輸送用電線	5,423	▼ 9.2	▼ 5.8	33,995	▼ 9.0	▼ 8.5	
銅電線計	50,541	▼ 6.8	▼ 6.8	91,989	▼ 5.5	▼ 6.9	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	60	▼ 6.3	▼ 22.1	222	0.9	▼ 12.3
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,977	0.3	▼ 15.0	3,699	2.0	▼ 9.0
	計	3,042	0.2	▼ 15.1	3,939	1.9	▼ 9.7
アルミ電線計	1,826	▼ 22.7	▼ 40.1	1,889	▼ 11.6	▼ 25.9	
光製品	3,115,683	4.6	14.2	23,737	▼ 12.1	4.0	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,773	13.2	19.9	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、イースター休暇前バイデン政権のインフラ計画への期待からドル高が進み、上値の重い展開でスタート。LME指定倉庫在庫が減少に転じていることからアルミ相場は底堅く推移。第2週、イエレン米財務長官がG20に法人税率引き下げ競争をやめるように訴えるなどドル安ユーロ高要因となっており、さらに米新規失業保険申請件数が市場予想を上回り、またECB議事要旨で資産購入縮小が示唆されたことからユーロ高ドル安が加速。相場は堅調に推移。第3週、米小売売上高が前年同月比+27.7%と好調、株高進行もコロナ拡大の懸念から国債買いが進み長期金利が低下し、ドル安となり相場を下支え。中国の環境政策強化による生産抑制への不安、米の露追加制裁によるルサルからの供給懸念が不安視され、一時\$2,359まで上昇。底堅く推移。第4週、コロナ感染やワクチン関連のニュースが材料視される中、22日開催のECB理事会でテーパリング前倒し示唆への期待からユーロ高ドル安が進むとアルミも急騰し、約2年ぶり高値の\$2,369.50まで上昇。気候変動サミットにて周中国主席が対策概要を発表するとの予想からアルミ減産を懸念して、直近高値を\$2,375に更新もすぐに反落。それでも環境対策でのアルミ減産懸念は強まっており、引き続き上値を切り上げていく展開が予想される。最終週、SHFEの急伸を受けた銅の上昇がベースメタル全体に波及。アルミではLME指定倉庫在庫の2万トン弱の減少も支援材料となり堅調推移。このまま\$2400台で推移すれば、次の抵抗線は\$2,537の為、さらなる上昇に警戒が必要。但し利益確定売りなどの諸条件変化もあり当面は、\$2,300~\$2,400の広いレンジでの推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格（CIF） 2021年 3~4月積 2,513.00~2,500.00ドル/トン
- ・輸入採算価格 2021年 3~4月積 290.50~289.00円/kg
- ・NSP 2021年 2月 274.10円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2021年 4月~6月 280.00円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'21年2月	'21年3月	'20年3月
月生産	*2,186.0	2,415.0	2,389.0
平均日産	*78.1	77.9	77.1

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

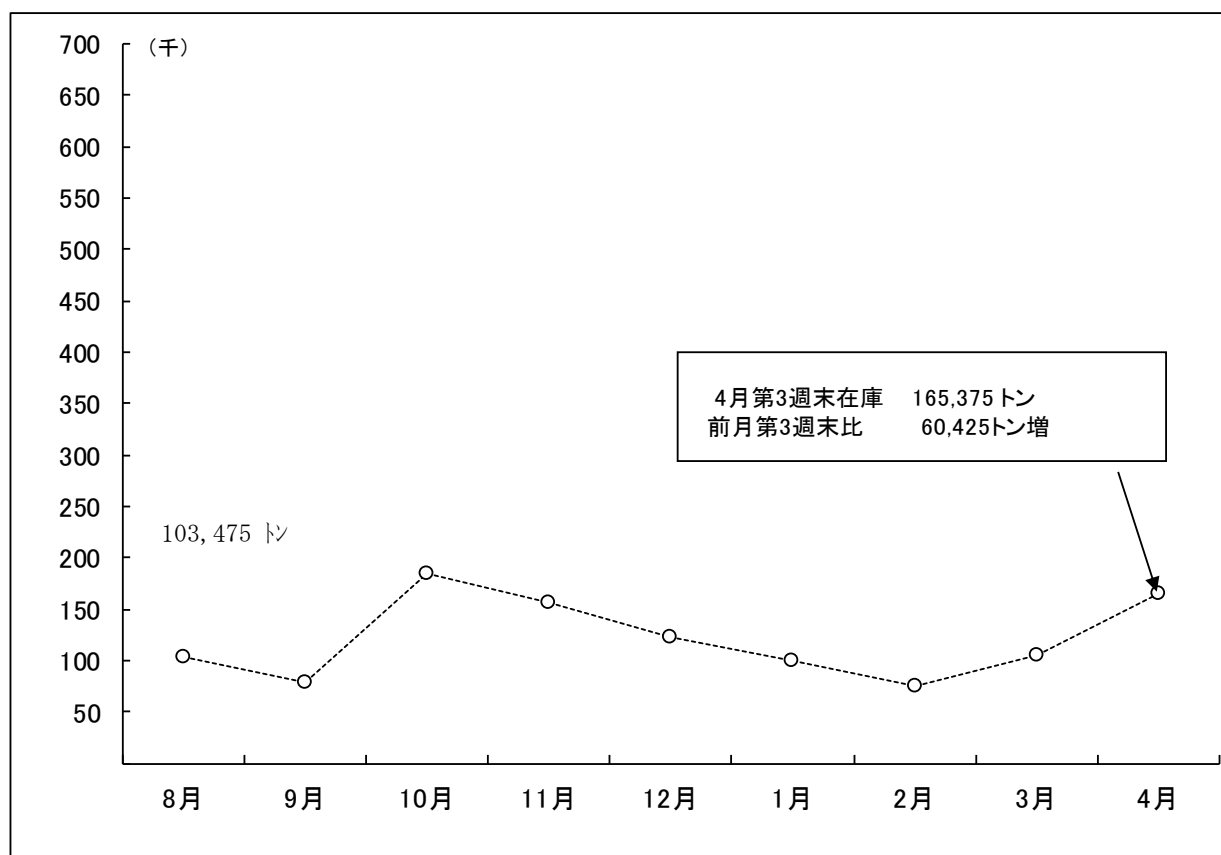
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年12月	2021年1月	増減	2020年1月	増減
横浜	135,900	133,700	-2,200	160,200	-26,500
名古屋	110,000	123,200	+13,200	130,000	-6,800
大阪	21,000	18,600	-2,400	15,000	+3,600
合計	266,900	275,500	+8,600	305,200	-29,700

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・ 21年4月16日現在 68,877 S T 前月比 2,072 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・ 21年2月末 124,307 トン 前月比 4,095 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・ 21年2月確報 63,731 トン
 ・ 21年3月速報 69,610 トン 前月比 108.8 %

◎ 電線出荷実績

・ 21年3月速報 59,300 トン 前月比 114.0 %

◎ 軽圧品生産実績

・ 21年 3月	板 類	105,813 トン	
	押 出 類	64,035 トン	
		<hr/>	
		169,848 トン	前月比 117.4 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。